

(財) 専教振発第38号

平成19年5月25日

専修学校・各種学校長各位

財団法人 専修学校教育振興会
理事長 鎌谷秀男
研修事業等中央委員会
委員長 高山哲信
CSM研修運営委員会
委員長 小野紘昭

公
印
省
略

財団法人専修学校教育振興会
『専修学校等教職員向けキャリア・サポート・マインド養成講座（CSM講座）』
開催のご案内

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本財団では文部科学省の委託を受け、平成15年度から16年度にかけて、専門学校での**キャリア・サポート<学生が自分自身のキャリア（仕事人生）を主体的に設計・選択・決定できるように支援すること>**を推進するために、教職員が有すべきマインドやスキルを養成する独自のプログラム（『専修学校等教職員向けキャリア・サポート・マインド養成講座（CSM講座）』）及びその講師（「CSMトレーナー」）養成カリキュラムを策定いたしました（最終頁の構成図を参照してください）。

その研究開発の成果を踏まえ、平成17年度以来、毎年東京と大阪の2会場で開催しております「CSM講座」は、全国から参加された専修学校等教職員の方々からの高い評価を頂いております。

本財団では、この「CSM講座」をより多くの学校の教職員の方々に受講いただけるように、実施要項のとおり、本年も8月に東京と大阪で開催いたします。

つきましては、ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、貴校教職員のご参加を賜りたくご案内申し上げますので、お申し込みいただきますようお願い申し上げます。

ご推薦いただきます教職員の方につきましては、同封の推薦書兼受講申込書に必要事項をご記入の上、ファクシミリにて下記へご返信いただきますようお願いいたします。

なお、本財団では修了基準を満たした受講者を「**キャリア・サポーター**」として認定・登録いたします。

<お問い合わせ・お申し込み先>

財団法人専修学校教育振興会 事務局 総務課 稲本・岡田

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 11階

TEL : 03(3230)4814 FAX : 03(3230)2688 e-mail : csm@sgec.or.jp

◆「専修学校教育振興会／キャリアサポートマインド」並びに「専修学校教育振興会／キャリアサポーター」は財団法人専修学校教育振興会の商標登録です。◆

財団法人専修学校教育振興会
『専修学校等教職員向けキャリア・サポート・マインド養成講座（CSM講座）』
実施要項

1. 目的 学生生徒の職業観の醸成、職業人生の考え方などを側面支援し、学生生徒自身が自立的に取り組み、決定していくために、教職員に必要とされるマインド（態度や姿勢・考え方）を養成することを目的とします。

2. 日程 ※グループワークを中心とした内容となります。また、修了要件にもかかわりますので、全日程を通じての参加をお願いします。部分参加、日程途中からの参加者変更はご遠慮ください。

※講座3日目のみ開始・終了時刻が異なりますので、ご注意ください。

※両会場ともに全日程、昼食をご用意いたします。

<東京会場>

第1日目 平成19年8月 1日（水） 9：30～17：30

第2日目 " 2日（木） "

第3日目 " 3日（金） 9：00～17：00

<大阪会場>

第1日目 平成19年8月 29日（水） 9：30～17：30

第2日目 " 30日（木） "

第3日目 " 31日（金） 9：00～17：00

3. 修了基準 3日間の全課程を履修後、1週間以内にレポートをご提出いただきます（課題内容等の詳細は講座のなかで説明いたします）。レポート内容は担当トレーナーが評価し、修了が認められると、「修了証」が授与され、修了者は「キャリア・サポーター」として認定・登録されます。

4. 場 所 **<東京会場>** アルカディア市ヶ谷 （地図参照）
東京都千代田区九段北4-2-25 TEL03-3261-9921
<http://www.arcadia-jp.org/>

<大阪会場> 天満研修センター （地図参照）
大阪府大阪市北区錦町2-21 TEL06-6354-1927
<http://www.temmacenter.com/tenma/access.html>

5. 認定講師 **<東京会場>**
西田君美雄氏（プロフィール参照）

<大阪会場>
犬塚尚美氏 （プロフィール参照）

※担当講師は都合により変更となる場合があります。

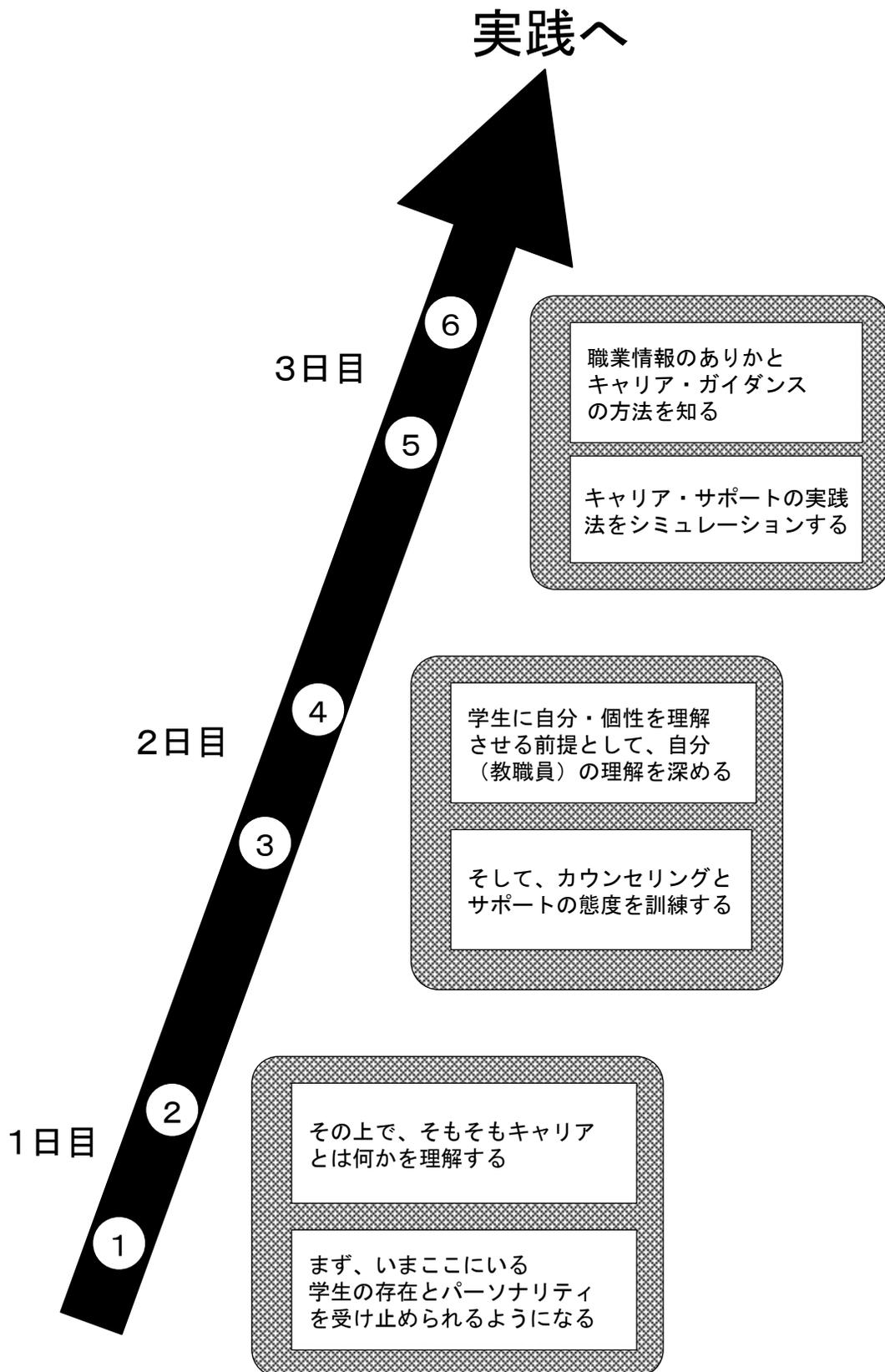
6. 定 員 原則として、各会場24名までとさせていただきます。
※なるべく多くの学校に受講いただくため、原則として1校につき1名の
受講とさせていただきます。
※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
※申込が1会場12名未満の場合、中止とさせていただきます場合があります。
7. 受講資格 次の①及び②の要件を同時に満たした方。
①専修・各種学校の教職員であること（非常勤及び就任予定者を含む）。
②専修・各種学校長が推薦する者であること。
8. 受講料 1名 80,000円（教材費、昼食代、審査及び認定・登録料を含む）
※移動に伴う交通費・宿泊費は含みません。各自で手配願います。
※受講料は「参加決定の連絡が届いた後（下記10.参照）、受講前までに」
下記口座にお振り込みください。
※受講料の返金はいたしかねます。受講申込後、開講前までに当初の受
講希望者が受講不能となった場合は、受講資格を満たす別の方の全日
程出席をお願いします。
※研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。
- みずほ銀行 九段支店（普通）2386904
（財）専修学校教育振興会
<※振込手数料は貴校にてご負担ください。>
9. 申込方法 同封の「推薦書兼受講申込書」に必要事項をご記入の上、下記連絡先まで
ファクシミリにてお申し込みください。
f a x : 03 (3230) 2688
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25
私学会館別館 11階
財団法人専修学校教育振興会 総務課 宛
10. 申込期限 東京会場 平成19年7月13日（金）
大阪会場 " 8月10日（金）
※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
※申込受付次第、受講希望者ご本人様に、電子メールで連絡いたします。

◆「専修学校教育振興会／キャリアサポートマインド」並びに「専修学校教育振興会／
キャリアサポーター」は財団法人専修学校教育振興会の商標登録です。◆

全体カリキュラム(予定)

1日目	2日目	3日目
<p>◆講座オリエンテーション</p> <p>1. 若者を受け止めよう</p> <p>(1)デモンストレーション</p> <p style="text-align: center;">バス</p> <p>(2)学生の現状点検</p> <p style="text-align: center;">グループワーク</p>	<p>3. キャリア・サポートのためのコミュニケーションスキル</p> <p>(1)基本態度</p> <p style="text-align: center;">実習</p> <p>(2)学生とのコミュニケーション</p> <p style="text-align: center;">ロールプレイング</p>	<p>5. 職業理解とキャリア・ガイダンス</p> <p>(1)職業興味と職業選択</p> <p style="text-align: center;">エクササイズ シェアリング</p> <p>(2)職業理解とキャリア・ガイダンス</p>
<p>昼休み</p>	<p>昼休み</p>	<p>昼休み</p>
<p>2. 仕事、キャリア、キャリア開発</p> <p>(1)私の履歴書</p> <p style="text-align: center;">ワークシート シェアリング</p> <p>(2)仕事の根っ子</p> <p style="text-align: center;">ワークシート シェアリング</p> <p>(3)なぜ働くのか</p> <p style="text-align: center;">ワークシート シェアリング</p> <p>◆まとめ</p> <p style="text-align: center;">宿題 キャリア・アンカー診断記入</p>	<p>4. 自己理解の促進</p> <p>(1)アイデンティティ</p> <p>(2)キャリア・アンカー</p> <p style="text-align: center;">検査(診断)</p> <p>(3)意思決定スタイル</p> <p style="text-align: center;">検査(診断)</p> <p>(4)検査フィードバックの留意点</p> <p>(5)ライフ・キャリア</p> <p style="text-align: center;">ワークシート シェアリング</p> <p>◆まとめ</p> <p style="text-align: center;">宿題 VPI検査表記入</p>	<p>6. キャリア・サポートの姿</p> <p>(1)どうするキャリア・サポート</p> <p style="text-align: center;">グループワーク</p> <p>(2)実践を誓って</p> <p style="text-align: center;">相互コメント</p> <p>◆まとめ</p>

研修ストーリー



認定講師プロフィール

東京会場(8/1~8/3) CSMトレーナー

西田君美雄氏 (NISHIDA KIMIO)

Office W-Planning 代表 人材育成・教育アドバイザー

財団法人専修学校教育振興会ビジネス能力検定専門委員会ワーキンググループメンバー

近畿大学通信教育部・近畿大学文芸学部非常勤講師



<経歴>

- 石川県生まれ
- 情報機器専門商社に勤務し、システム開発・営業を担当
- コンピュータ専門学校にて、IT専門教科講師・就職指導を担当(28年間)
- 現在ITソフトウェア企業を中心に社員育成、コーチング等を担当

<資格>

- 第1種情報処理技術者試験合格
- XML MASTER BASIC取得
- 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会認定CDA
(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)
- CSMトレーナー(財団法人専修学校教育振興会認定)

大阪会場(8/29~8/31) CSMトレーナー

犬塚尚美氏 (INUZUKA NAOMI)

有限会社アリーナアドヴァンス 代表取締役 人材開発プロデューサー

NPO法人キャリアデザインフォーラム 代表理事

日本マンパワー CDAインストラクター



<経歴>

- 愛知県生まれ
- 慶応義塾大学法学部法律学科、商学部卒業
- 南山大学人間文化研究科卒業 教育ファシリテーション修士
- 丸紅株式会社、株式会社東海総合研究所(現三菱UFJ R&C)を経て独立、現在に至る。

<資格>

- 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会認定CDA
(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)
- CSMトレーナー(財団法人専修学校教育振興会認定)

会場案内図

<東京会場> アルカディア市ヶ谷 (<http://www.arcadia-jp.org/>)

東京都千代田区九段北4-2-25 電話 03-3261-9921

J R・地下鉄市ヶ谷駅下車 徒歩約2分



<大阪会場> 天満研修センター (<http://www.temmacenter.com/tenma/access.html>)

大阪府大阪市北区錦町2-2-1 電話 06-6354-1927

J R天満駅下車 徒歩約2分



※昨年度(平成18年度)、東京・大阪で開催したCSM講座終了後に、受講者の方々から提出された課題レポートの一部を以下のとおり紹介させていただきますので、ご参照ください。

<1. CSM講座・大阪会場(平成18年8月23日~8月25日開催)受講者の方>

私は自分自身の知識やスキルを少しでもいいから増やしたい、自分自身のキャリアを豊かにしていきたいとの思いから、今回この講座の案内を頂いた時に、すぐさま手を挙げ希望し、参加させていただきました。

私は大学を卒業し、今の専門学校に入職して2年目になります。普段はキャリアセンターという就職指導部署で、学生の面談、指導、求人票・情報の取得と提供、就職に関するイベントの企画・運営に携わっています。入職してから私が一番戸惑った事は、私がしてきた、感じてきた大学生の就職活動と専門学校のそれとは全く違うということです。学生は学校任せで、全く自分で考え、動こうとしない。学校側はそれを課題視、指摘するにも関わらず、「学生の完全サポート」という学校としての義務を果たすべく、なんでもかんでも手を差し伸べてしまう。このことが学生自身の「自分の事は自分です、自分の人生は自分自身で切り開き、選択し、決断していく」という姿勢や力を奪っていき、学生を甘やかしていると感じたのです。私や周りの大学生がしてきた就職活動は全く異なるものでした。大学は何もしてくれません。それが当たり前で普通でした。就職活動を通して自分を深く知り、主体的に考え動くことを学びました。入職してからは教員という立場で、この違いをどのように埋めていき、変えていけばよいかはずっと私のジレンマや課題でした。

今回この研修に参加させていただいき、たくさんのことを学ばせていただきました。自分自身への気づきもそうですが、上記の課題やジレンマを解決していけそうなたくさんのお考え、ツールを頂きました。3日間を終え、私は今学生にしていきたいことや思いでいっぱいです。

今回の研修を終え、私がこれから実践、継続していきたいことは、主に次の三つです。

第一に今まで以上に学生と向き合い、話をきくことを意識した学生対応をしていきたいと思っております。研修を通して、いかに自分が基本的で、できていると思っていた「話を聴き、相談にのっていく」という姿勢ややり方が間違っていたかを思い知りました。就職指導とキャリアサポートとの根底的な違いも学びました。時たま我慢できず、相手の話をさえぎってまで自分の意見や考えを言ってしまう、アドバイスが価値観の押し付けになってしまう、などから口調や態度まで、自分の悪い癖をたくさん自覚することができました。また、ロールプレイングなどの実習を通して、それが学生にどんな風に伝わっているのかもわかり、学生を傾聴・理解することの難しさも学びました。結論・効率だけをみていたら本当の学生理解は不可能です。この気づきを財産とし、今後の学生対応では、学生の本当の気持ちを理解することに全神経を傾けること、またいかに有効なサポートをしていくかを常に意識していきたいと思えます。

第二にキャリアサポーターとして自分自身のレベルを上げることを意識して毎日の業務に取り組んでいきたいと思っております。普段から感じていることではありますが、キャリアサポートというのは曖昧で抽象的なことと戦いながらそれらを明確にしていく、とても難しく責任を伴うことだと思えます。自分自身が社会人として知識や経験、軸や芯を持っていなければ、学生の人生に関わっていく資格はないと感じます。私は社会人2年目で、情けないですがまだ自分自身のキャリアをきちんと確立でき

ていません。今回の研修でも、学校のため、学生のためというよりは、より自己理解を深めるためという意識で参加した自分に疑問を感じていましたが、結果として、この講座のテーマの一つである“自己理解の促進”が、より良い学生サポートにつながるということを学びました。このような研修に参加する、またそれらを振り返り今後に生かしていく、自分の物にしていくということを少しでも多くしながら、自分を早く確立し、自信と責任をもって学生に接していくことのできるよう、キャリアサポーターとしての力やレベルをあげていきたいと今回の研修を通して改めて感じました。今後いろいろな情報網からもキャリアサポートに関する知識を深めていきます。そして体感、実践していきます。

第三に今回学んだことを他教職員や学生に還元していくことをしていきたいと思っております。今回は様々なロールプレイング、実習、検査、ワーク等をさせていただき、このどれもがたくさんの気づきを得られるものでした。このような気づきを他の教職員は元より学生にも得て欲しいと思っています。私は秋から学生の授業内で就職対策講座を受け持ちます。自分が担当することができる時間を最大限に活かし、今回の研修で経験させていただいたことを少しでも多く授業内に生かしていこうと考えています。またこのような私の取り組みが他の教職員へのよい影響となり、学校全体の姿勢へとつながっていけばと思っております。

これらのことを少しずつでも確実に実行していくことで、自分自身のキャリアや軸も明確にし、キャリアサポーターとしてもレベルアップを図っていきたいと考えます。

<2. CSM講座・東京会場(平成18年7月12日~7月14日開催)受講者の方>

本校に20年以上勤務し、授業を行いながらクラス担任として学生の相談にのってきた時間や学生指導に費やしてきた時間はかなりのものである。またその中でもいわゆる就職指導に費やした3年間は自分自身にとっても非常に意義のあるものであった。

しかし、「キャリア・サポートのためのコミュニケーションスキル」における基本姿勢、受容と共感、主訴の繰り返し、要約・感情の明確化、沈黙の処理等の基本態度をロールプレイングしながら学んだ時には眼からうろこが落ちたようであった。わが身にとって都合のよい学生指導はしていたが、様々な状況にある学生のその時の気持ちを中心には考えていなかったのではないかということである。

そこでまず、クラス担任や進路指導担当の教職員にはこの基本態度ができているか確認し、できていないであろう多数の者にはさっそく基本態度を学ぶ機会を作りたいと思う。

さらに、「キャリアサポート禁句集」にある学生を傷つけるようなことばを気軽に教職員が使わないで、学生を元気づけるホスピタリティあふれた表現の職場、雰囲気为学校にすることも実現したい。

教職員の中にも意外に自分自身のことを理解しないで指導にあたっている者も多いのではなかろうか。私も若い頃には何度か職業適性検査を受けた記憶があるが、今回の研修での自己診断は四半世紀ぶりであり、自分のことながら極めて興味深いものであった。結果のほとんどは納得のできるものであり、現在の業務遂行に必要な指向性が出ており安心した面もあった。学生のキャリア・サポートだけでなく50歳代後半の教職員が退職後の職業を考えると「自己理解の促進」で学んだような検査を受けておく

必要があると思う。最近、職場でも話題になっているように自分の居場所探しをしなければいけない者も職場にはいるものである。年功序列から成果主義になり、これに充分対応できず自分の居場所がなくなりつつある教職員も増えつつある。その者にとってはもう一度自分の適性を確認する上でも一つの客観的な材料である。

つまり活用の第二番目としては、学生のキャリア・サポートのためだけでなく自己分析の各種検査を教職員に対する材料としても吟味して利用していきたい。これにより居場所を積極的に見つけ、各自がよりハッピーになれる可能性も高くなる。

この研修期間で私が最も熱心になれたのは「ライフ・キャリアの虹」で自分のライフ・キャリアの虹を作図するという時であった。沢山の講義を聴くという研修ではなくグループで話し合う、ロールプレイするということは大変意義があり特徴ある研修であるが、自分が最もよく知っているであろう自分の過去から自分の未来のキャリアを作図することは大変意義があり感動ものである。

活用・展開の第三番目として、学生の自己分析において「ライフ・キャリアの虹」のような過去、現在を作図できそして未来にも挑戦させるような楽しい作図を取り入れ、社会と自分の関係を考えさせる機会を持たせたい。自己紹介の中にも必ず自分の未来における社会と自分の関わりを語ることができるパターンも取り入れさせたい。

第四番目としては、学生に市場の仕組みを理解させ、なぜ働くのかということを考えさせたい。V P Iの考察にあるように興味は各自によって異なるが、自分のタイプを理解することは自分の価値観に結びつきそれが職業に結びついていくからである。

今回の研修においてどのグループも挙げていたようにどの学校にも問題点があるが、現場の教職員がこつこつと積極的に行動することで組織・職場を活性化できるということである。率先垂範である。

よって最後に、今回の研修の内容をできるかぎり他の者にも伝え職場活性化に励みたい。

専教振認定「キャリア・サポーター」在籍校一覧

平成16～18年度に専教振が開催した「CSM講座」(実証講習会を含む)を修了され、現在「キャリア・サポーター」として全国で活躍されている方々の所属校(講座参加当時の学校名)につきまして、以下のとおり紹介させていただきます。なお、学校名の掲載について同意いただけなかった場合は、都道府県名と人数のみとなっています。

◆**北海道** 帯広コンピュータ・福祉専門学校1名、専修学校ファーイースタンステイトユニバーシティ函館校1名、札幌リハビリテーション専門学校1名、札幌医療科学専門学校1名◆**青森県** 東奥保育・福祉専門学院1名◆**岩手県** 1校1名◆**宮城県** 東北電子専門学校1名、専門学校デジタルアーツ仙台1名◆**山形県** 山形厚生看護学校1名、山形総合ビジネス専門学校1名◆**福島県** 国際メディカルテクノロジー専門学校1名◆**茨城県** 1校1名◆**栃木県** マロニエ医療福祉専門学校1名◆**群馬県** 中央情報経理専門学校高崎校1名、中央情報経理専門学校1名◆**埼玉県** アルスコンピュータ専門学校1名◆**千葉県** 千葉情報経理専門学校1名、その他1校1名◆**東京都** 専門学校東京テクニカルカレッジ1名、読売江東理工専門学校1名、専門学校ESPミュージカルアカデミー1名、日本工学院専門学校1名、東京美容専門学校2名、ホスピタリティツーリズム専門学校2名、東京デザイン専門学校1名、山脇美術専門学院1名、国際理容美容専門学校1名、その他2校2名◆**神奈川県** 学校法人岩谷学園2名、その他2校2名◆**新潟県** 国際エア・リゾート専門学校1名、国際ビューティモード専門学校1名、国際ホテル・ブライダル専門学校1名、新潟情報ビジネス専門学校1名、新潟リハビリテーション専門学校1名、その他2校2名◆**富山県** 富山情報ビジネス専門学校1名◆**長野県** 長野カレッジオブキャリア2名、松本衣デザイン専門学校1名◆**岐阜県** ベルフォートアカデミーオブビューティ2名、専門学校飛騨国際工芸学園1名◆**静岡県** 沼津情報専門学校1名、静岡産業技術専門学校1名、その他1校1名◆**愛知県** 安城生活福祉高等専修学校1名、日産愛知整備専門学校2名、東海医療工学専門学校1名、トヨタ名古屋整備専門学校1名、山本学園情報文化専門学校1名◆**三重県** 旭理容美容専門学校1名◆**京都府** 京都コンピュータ学院京都駅前校1名◆**大阪府** 大阪医療福祉専門学校1名、辻調理師専門学校2名、創造社デザイン専門学校2名、阪神家政高等専修学校2名、コンピュータ日本学院専門学校1名、大阪医療技術学園専門学校1名、履正社学園コミュニティ・スポーツ専門学校1名、大阪美容専門学校1名、大阪情報コンピュータ専門学校1名、ECCコンピュータ専門学校1名、その他5校6名◆**兵庫県** 関西保育福祉専門学校1名、神戸医療福祉専門学校三田校1名、その他1校1名◆**奈良県** 樞原美容専門学校1名◆**岡山県** 専門学校岡山情報ビジネス学院1名、専門学校倉敷ファッションカレッジ1名◆**広島県** 穴吹デザイン専門学校1名、広島コンピュータ専門学校1名、広島ビジネス専門学校1名、広島会計学院専門学校1名◆**山口県** 専門学校YICグループ本部1名◆**高知県** 高知情報ビジネス専門学校1名、他1校1名◆**福岡県** 九州ビジネス専門学校1名、麻生情報ビジネス専門学校1名、専門学校日本デザイナー学院1名、専門学校福岡カレッジ・オブ・ビジネス3名、福岡航空ビジネス専門学校1名、麻生医療福祉専門学校福岡校1名、専門学校日本ビジネススクール1名、専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ1名◆**長崎県** 長崎コンピュータ専門学校1名、その他1校1名◆**熊本県** 専修学校熊本壺溪塾1名、九州工科自動車専門学校1名◆**大分県** 明日香美容文化専門学校2名◆**宮崎県** 大原簿記公務員専門学校宮崎校1名◆**鹿児島県** 鹿児島情報ビジネス専門学校1名◆**沖縄県** 専門学校那覇日経ビジネス工学院1名、専門学校日経ビジネス工学院1名、その他1校1名 = (全国合計100校113名) =

財団法人専修学校教育振興会 「CSM講座」と「CSMトレーナー養成研修」について

理事長・学校長 殿

「CSM講座」と「CSMトレーナー養成研修」の関係は下図のとおりです。

このうち「CSMトレーナー養成研修」は、CSM講座を修了して「キャリア・サポーター」として認定・登録された方で、トレーナー養成研修の開催案内を希望された方宛に開催案内を直接お送りしております。

貴校教職員より「CSMトレーナー養成研修」の受講希望がございました場合は、ご高配の程お願い申し上げます。

学生生徒の職業観の醸成、職業人生の考え方などを側面支援し、学生生徒自身が自立的に取り組み、決定していくために、教職員に必要なマインド(態度や姿勢・考え方)を養成することを目的とします。

「CSM講座」受講 (専教振認定CSMトレーナーにより運営)

<受講資格>

次の①及び②の要件を同時に満たした方

- ①専修・各種学校の教職員
(非常勤及び就任予定者を含む)
- ②専修・各種学校長が推薦する者

3日間の全課程修了
(課題レポートの提出を含む)

「キャリア・サポーター」 認定・登録

専教振認定CSMトレーナーとしてCSM講座を運営

CSMトレーナー認定・登録

※業務の保証を意味するものではありません。
※5年毎の更新手続きが必要となります。

CSM講座修了者を対象に
CSMトレーナー養成研修
の開催案内を送付

実技審査を含めた総合評価
により合否決定

「CSMトレーナー 養成研修」受講

事前に書類審査及び
面接審査有り

「CSMトレーナー養成研修」 受講申込

<受講資格の概要>(詳細は開催案内記載の実施要項参照。)
次の①～③の要件を全て具備された方

- ①キャリア・カウンセリングに関する資格を有すること。
- ②キャリア・カウンセリングの経験を有すること。
また、可能ならば、トレーナーの経験を有することが望ましい。
- ③財団法人専修学校教育振興会が認定する「CSM講座」の修了者(「キャリア・サポーター」)であること。

CSM講座を運営する講師(「CSMトレーナー」)を養成し、認定・登録することを目的とします。

◆「専修学校教育振興会/キャリアサポートマインド」並びに「専修学校教育振興会/キャリアサポーター」は財団法人専修学校教育振興会の商標登録です。◆

平成19年 月 日

推薦書兼受講申込書

(財)専教振 CSM研修運営委員会 御中

(学校名) _____

(校長名) _____ 校印

下記の者を「専修学校等教職員向けキャリア・サポート・マインド養成講座（CSM講座）」の受講者として推薦し、参加を申し込みます。

【希望会場】 1. 東京 2. 大阪 (○印をお付けください)

【貴校名】 _____

※ 受講料は原則としてお申し込みの学校名にてお振り込みください。法人名にてお振り込み予定の場合は、以下に法人名をご記入ください。

→法人名: _____

【受講希望者】

ご芳名	部署・役職名等	性別	生年月日
(フリガナ)			西暦 年 月 日

※ ご提供いただいた個人情報は、講座開催前後の事務連絡、講習時のグループ分け及び修了後のCSM関連の情報提供以外には利用いたしません。

※ 講師・受講者・事務局・オブザーバーに配布する「受講者名簿」に都道府県名・氏名・学校名のみ掲載させていただきますので、ご了承ください。

【受講希望者連絡先】 〒 _____

学校所在地

(TEL _____)

(FAX _____)

必ずご記入ください→ (e-mail: _____)

【受講料】 80,000円 (※研修会当日の受講料の受け渡しはご容赦ください。)

【ご利用予定銀行】 _____ 銀行 _____ 本・支店より

(※振込手数料は貴校にてご負担ください。)

<ご返信先>送付状は不要です。本状のみ送信ください。

財団法人専修学校教育振興会 事務局総務課 稲本・岡田

FAX 03-3230-2688